

昭和57年度芸術祭大賞受賞

エボリ

エボリをこえて神はいない。
エボリをこえてイタリアはない。

歴史にも政治にも拒絶された山境にみつけられた心と愛
巨匠フランチェスコ・ロージの感動の名篇

フランチェスコ・ロージ監督作品 ● ジャン・マリア・ウオロンテ
イレーネ・パス ● レアマツサリ ● バオロ・ボナチエリ ● アラン・キニ丁

1979年カンヌ映画祭特別招待作品 ● CRISTO SI E FERMATO A EBOLI
モスクワ映画祭グランプリ ● 1980年ダヴィッド・ド・ナテロ賞



原作 カロレーヴィ
脚本 フランチェスコ・ロージ
上田ノブユキ
モンテレーロ・カフリア

撮影 バスリリー・メテサニエス
美術 アンレア・クレサニ
音楽 ビゴ・ヒョウチーニ
製作 フラコ・クリスタルディ

VIDES+RAI(ローマ)ACTION FILMS+GAUMONT(パリ)
傑作を世界からはこぶ(バウ・シリーズ)
フランス映画社提供

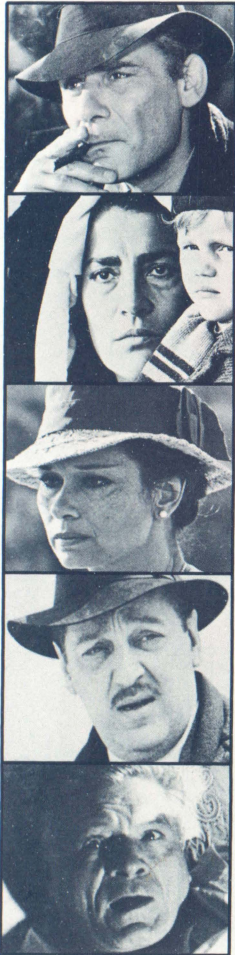
DESIGN M. OGASAWARA

(昭和57年度芸術祭大賞)受賞

- 1979年カンヌ映画祭特別招待作品
- 1979年モスクワ映画祭グランプリ
- 1980年ダビッド・デ・ナテッロ賞

エボリ

●フランチェスコ・ロージ監督作品
 イタリア・フランス合作(カラー作品)
 CRISTO SI È FERMATO A EBOLI
 BOW パウ・シリーズ/フランス映画社提供



1935年の冬。憲兵に護送されて南伊エボリの駅におりたつカルロ・レーヴィ。迎える人はなく、パロネ(男爵)という名の捨て犬だけがついていく。レーヴィは流刑者。北伊トリノの文化人として知られていたが、ファシズムに反対する活動で逮捕されて、エボリの先、ルカニアの山境に流刑されるのだ。

●知られざるイタリア——心と愛とやさしさ

●80年度最高——パリで47週間のロングラン

近年、これほどの地味な主題の映画が大作として製作されたこともなければ、これほど深い感動を呼び起したことも稀だろう。フランチェスコ・ロージ監督の「エボリ」は、フェデリコ・フェリーニの「アマルコルド」やルキノ・ヴィスコンティの「熊座の淡き星影」などの製作で知られるフランコ・クリスタルデイのプロデュースで、ジャン・マリヤ・ヴオロンテ、イレーネ・パパス、レア・マッサリ、パオロ・ボナチエッリ、アラン・キュニリと伊仏の名優を集め、製作に3年をかけた。現地ルカニア山中の長期ロケ敢行で話題を呼んで79年に完成。同年のカンヌ映画祭でコンクール外の特別招待作品としてワールド・プレミア上映され、忘れえぬ感動と、満場の絶賛をあげた。次いでモスクワ映画祭にコンクール参加作品で金賞(グランプリ)を受賞。イタリア本国では626日の上映日数で26万人を劇場動員。ロングランの本場パリでも、なんと47週という80年の年度最高のロングランを記録して20万人のパリの人々を感動の涙にひたらせた。

●永遠の感動を呼ぶ——巨匠ロージの名篇

カルロ・レーヴィ(1902～1975)の名著「キリストはエボリに止まりぬ」の映画化だが、南部ナポリの出身で「シシリーの黒い霧」「黒い砂漠」「コーザ・ノストラ」「ローマに散る」など、一貫してイタリア南部の人々を描きつづけているフランチェスコ・ロージにとつて、「エボリ」こそは、南部に生きる人々の心を比喩ないやさしさでうたいあげた集大成の映画だ。過去の、問題意識を真正面にうちだした作風から一転して、厳肅なりリズムの底から抒情とリリズムがあふれたこの傑作に、ヨーロッパの批評家たちはこぞつて驚きを

荒涼として胸をしめつけるような風景の、人口数千人の僻村ガリアーノ。土が悪く、作物はほとんどとれない。出かせぎでアメリカにまで移民を出した家が多いが、郷愁に負けて帰ってきた者もいる。キリストもこの村までは来なかった、エボリに止まったのさと、笑いとはずすが村人たちの言いぐさだ。

村を知り、村人たちを知るにつれて、レーヴィは、都会では知りえなかった別なイタリア、ほんとうの心が存在していることに気づいていく。それは、面会に訪れた姉のルイザにも、言葉では説明できないものだった。北部の文化人の理解をこえる、もうひとつのイタリアがここにはたしかに生きていたのだ。村長のマガローネは、もうひとつのイタリアを発見することなど、ムッソリーニ支配のもとで危険このうえないと、レーヴィの身を案じて警告を発するが、村人たちがレーヴィを医師として心から信頼しはじめたことから、レーヴィと村長の対立は頂点に達する……。

【スタッフ】
 監督……フランチェスコ・ロージ
 脚本・脚色……トニーノ・グエッラ/ラファエーラ・カプリア/フランチェスコ・ロージ
 原作……カルロ・レーヴィ「キリストはエボリに止まりぬ」
 撮影……バスカリーノ・デ・サンティス
 美術……アンドレア・クリサンティ
 音楽・指揮……ピエロ・ピッチョーニ
 製作……フランコ・クリスタルディ/ニコラ・カラッロ
 【キャスト】
 カルロ・レーヴィ……ジャン・マリヤ・ヴオロンテ
 ジュリア・ヴェネーレ……イレーネ・パパス
 ルイザ・レーヴィ……レア・マッサリ
 村長ルイジ・マガローネ……パオロ・ボナチエッリ
 ニコラ・ロトゥンノ男爵……アラン・キュニリ
 司祭トリエッラ……フランソワ・シモン
 シチリアの女マフィア……ムッツィ・ロッフレド
 ジュリアの息子カルメロ……カルメロ・ラウリア
 Vides Cinematografica+RAI(ローマ)+Action Film+Gaugmont(パリ)製作 1979年度作品 イタリア・フランス合作 カラー スタンダード 2時間31分 8巻 4,155m
 1979年カンヌ映画祭特別招待作品/1979年モスクワ映画祭グランプリ/1980年ダビッド・デ・ナテッロ賞/昭和57年度芸術祭大賞

あらわし、ミシェル・シマンは、「エボリ」はロージの「アマルコルド」だ、と絶賛した。撮影と音楽のすばらしさも絶品といえるだろう。撮影は65年くらいロージの全作品を担当し、ゼファイミー撮影賞を受賞、「ベニスに死す」でアカデミー撮影賞を受賞、「ベニスに死す」家族の肖像」などヴィスコンティとの仕事も多いパスカリーノ・デ・サンティスの仕事は、59年くらいロージの全作品を担当しているピエロ・ピッチョーニ。ラストシーン、車窓をあらう涙のような雨、レーヴィと村人たちの、再会を約束しての別れの場面で流れるテーマ曲は永遠に心に残ることだろう。



3月12日(土)より
ロードショー

伊勢丹前シネ・タウン
新宿ビレッジ2 (3129) (351)
 上映時間 日・祝のみ 10:00 12:40 3:40 6:40

特別鑑賞券1200円
 (一般1500円・学生1300円の処)
好評発売中!
 ●グループ鑑賞及び映画教室のお申込みは(株)メイジャー(541)2508へ。